



パルシステム千葉 環境への取り組み



①本部（船橋市）

①にじろばる船橋海神

②野田センター

②のだ中根店

②にじろばる野田

②にじろばる野田音女通り

②パルグリーンファーム

③パルひろば☆おたかの森

④松戸センター

④にじろばる松戸六実

⑤柏センター

⑥印西センター

⑦にじろばる市川里見

⑧習志野センター

⑨稲毛センター

⑩千葉センター

⑩パルひろば☆ちば

⑪東金センター

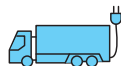
⑫キューブ館山

※2026年時点

EV車両



EVトラック



太陽光発電



CO₂ゼロ実現センター
高圧事業所



CO₂ゼロ実現センター
低圧事業所



【パルシステム千葉環境方針】

- ① CO₂排出総量の削減に取り組みます。
- ② くらし方の見直し活動を広げます。
- ③ パルシステムのエネルギー政策を推進し、再生可能エネルギーの拡大に取り組みます。
- ④ 産直の強みを活かしながら日本の食料自給力向上に取り組みます。
- ⑤ 環境に配慮した商品づくりと普及に取り組みます。

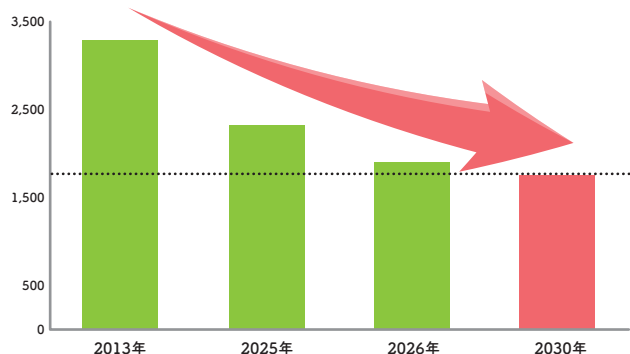
pal*system

パルシステム千葉

～CO₂削減に向けた取り組み～

パルシステム千葉は、持続可能な社会の実現に向けて、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用などさまざまな取り組みを実施しています。

CO₂排出量の推移(イメージ)



【CO₂排出量】2030年46%（2013年度比）削減、その先の2050年0(ゼロ)に向けて・・・

日本が掲げる「2030年度に温室効果ガス46%削減(2013年度比)」、さらに「2050年実質ゼロ(カーボンニュートラル)」の実現。パルシステム千葉では、この大きな目標を達成するため「2030年までのCO₂排出量削減計画」を策定し、持続可能な社会づくりを進めています。

EV車両

パルシステム千葉の事業活動に欠かせない自動車。EV車両の導入を進め、日々の業務の中でCO₂排出量の削減を進めています。



太陽光発電

習志野・印西・東金・松戸の各センターでは太陽光発電を行い、事業活動の中で再生可能エネルギーの活用を進めています。

【導入拠点】	【年間発電量】
習志野センター	10,003kWh
印西センター	26,014kWh
東金センター	56,535kWh
松戸センター	15,444kWh

※2025年度の実績

2026年4月には、パルグリーンファームにある古民家交流施設にもソーラーパネルを設置しました。お越しの際は、ぜひお立ち寄りください！



※パルグリーンファームは、パルシステム千葉 直営農場です。

パルシステム電力 CO₂ゼロプラン

配送センターなどの事業所では、商品の温度管理や事業所の照明PCなど、多くの電気を使用しています。パルシステムでんきの『CO₂ゼロプラン』は再生可能エネルギー100%の電気を供給するため、電気使用によるCO₂排出を実質ゼロにすることが可能です。パルシステム千葉では、配送センター・店舗・福祉事業所など計11拠点で『CO₂ゼロプラン』への切り替えを行っています。



～ その他の環境への取り組み ～

配送センター・事務所

配達時のエコドライブや省エネを実施。回収したリサイクル品の仕分けを行い、環境負荷低減と資源循環に努めています。



つどい

石けんや3R(リデュース・リユース・リサイクル)などの環境をテーマにした企画を開催。組合員同士が交流しながら楽しく学びます。



サポーター

環境問題やエコな暮らし方など、パルシステムが取り組む環境活動について学び、組合員へ伝えていきます。



店舗

店舗ならではの地域との接点を生かし、食品ロス削減につながる「手前どり運動」の呼びかけや、資源循環のために「トレー回収」を推進しています。



予備青果→子ども食堂支援

予備として確保している野菜や果物を千葉県内の子ども食堂などへ提供。地域団体を通じた食の支援と、食品ロスの削減で温室効果ガス削減へつなげています。



ソーラーシェアリング

千葉県香取市の圃場では、太陽光を農業と発電でシェアする「ソーラーシェアリング」を設置。作物を育てながら発電もしています。



商品展示会などのイベント会場や店頭でも一部回収を実施しています！



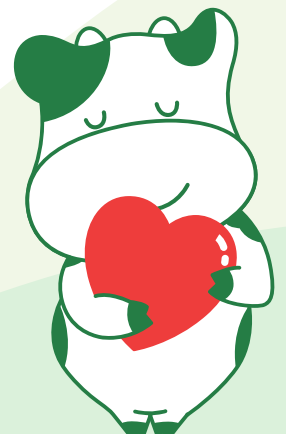
うちエコ診断

省エネは光熱費や温暖化の原因となるCO₂の削減につながります

パルシステムでは組合員のご家庭における省エネ行動の支援を推進するため、環境省の「うちエコ診断」を活用しています。うちエコ診断は、各ご家庭の光熱費などの情報をもとに、お住まいやライフスタイルに合わせて無理なくできる省エネ対策をご提案するものです。



省エネにご協力を！



組合員の皆さんの参加が、 持続可能な社会づくりにつながっていきます。



お届けした容器や資材を戻していただくことで、捨てずに生かす資源循環の取り組みが広がっていきます。
環境を守るために無理なく続けられる、身近な一歩として毎週の資源回収にご協力ください。

リユース・リサイクル品と戻し方



「Rマーク」が目印です。

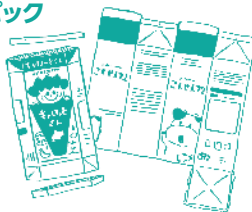
①リユースびん

水ですすぎ、キャップと透明フィルムをはずして通い箱へ。
※紙ラベルはそのままOK。
※回収しているびんは、右上の二次元コードから確認できます。



②紙パック・ABパック

洗って、開いて、乾かして通い箱へ。
※市販品も対象です。



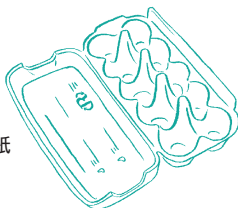
③ヨーグルトカップ

洗って、開いて、乾かして通い箱へ。
※ふた(内ぶた含む)は回収しません。
※対象商品に限りです。



④たまごパック

そのまま通い箱へ。
※汚れた部分は切り取ってOK。
※パルシステムのロゴが入ったモールドバック(紙素材)。



⑤ペットボトル

キャップをはずして乾かし、軽くつぶして通い箱へ。
※回収対象は『富士の天然水(ラベルなしPET)』のみです。



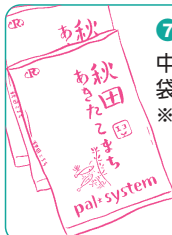
⑥カタログ・商品まとめ袋

中身は出して、それぞれ通い箱へ。
※組合員ラベルは切り取ってください。



⑦米袋

中身は米粒を残さず空にして、袋だけを通い箱へ。
※Rマークがついたパルシステムの袋のみ提出。



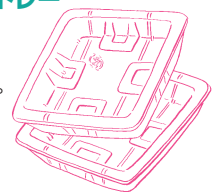
⑧商品カタログ・チラシ類

そのまま通い箱へ。
※袋から出し、注文用紙は分けて提出。



⑨「お料理セット」紙製トレー

汚れた場合は、軽く洗って通い箱へ。
※深型紙製トレーも通い箱へ。



⑩トマトといちごの外箱

たたんでそのまま通い箱へ。
※「Rマーク」つきのものに限りです。
※濡らさないようにご注意ください。



回収品をご提出いただく際のご注意

Q 袋にまとめてもいい?

A まとめて、そのまま通い箱へ。

Q カタログは袋に入れたままでいい?

A 袋から出し、注文用紙も分けて別々に提出してください。

Q びんのラベルははがす?

A はがさずにそのまま大丈夫です。

Q 汚れているものは?

A 軽く水洗いしてください。素材によって切り取ることができれば、取り除いてください。

回収の流れ

①配達時に回収

通い箱に入れた資材を、商品の配達時に回収します。



②センターで分別

センターで種類ごとに分けて、資材を確認します。



③リユース・リサイクル

洗浄・検査・加工などを行い、リユースやリサイクルで再び資源として活用します。



④次の資源へ

製品や資材に生まれ変わり、暮らしの中で再び役立てられます。



リユース・リサイクルについてもっと詳しく!

素朴な疑問を1分でわかる

ショート動画でご紹介♪



千葉の
リユース・リサイクル
クイズ はコチラ



お問い合わせ先 生活協同組合パルシステム千葉 総務部

☎ 047-420-2600 月曜日～金曜日 9:00～17:30

✉ palchiba-kankyo@pal.or.jp



GREEN PRINTING JFPI

P-A10021

熊谷工場



FSC

ミックス

FSC® C004698